

「ヘリコバクター・ピロリ専門外来」併設に関するお知らせ

胃がんとピロリ菌

わが国では胃がんは依然死因の上位に認められ、その大半は、ヘリコバクター・ピロリ菌（以下「ピロリ菌」）の感染が原因です。ピロリ菌は多くが乳幼児の時に感染し、その後ずっと胃に住みつき、胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍そして胃がんをひきおこします。胃がんの発生を抑えるためすでに多くの方々に内服による除菌治療を受けていただきました。皆様のピロリ菌についての疑問や不安にお答えしながら、胃がんの発生抑制・撲滅のためさらに積極的に除菌治療を行って参ります。

次のような方はご相談ください

- ・ 上腹部の痛みや不快感が頻発したり続いている方。
- ・ 健診や他医療機関にてピロリ菌感染を指摘された方。
- ・ X線検査や内視鏡検査にて慢性胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍などと診断された方。

ピロリ菌の検査と治療

当院にてピロリ菌の検査（血液検査・呼気検査・便検査等の方法があります。）を実施し、ピロリ菌がいることが確認できれば7日間お薬を服用していただき、除菌治療を行います。一定期間経過後に再度検査を行い、ピロリ菌が除菌できているか確認します。1回目で除菌できなければ2回目の除菌を行います。

「ヘリコバクター・ピロリ専門外来」 毎週水曜日午後

担当医師：森下 鉄夫教授（日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医）